

あかるい希望

令和 3 年

9 月 13 日

発行者

小田切英史

爽やかな秋の空気を感じる季節となりました。山梨県に出ていた蔓延防止等重点措置が解除されたこともあり、感染拡大防止に充分注意しながら、運動会へ向けての練習を本格的にスタートさせました。子供たちの声や表情に運動会へ向けての活気を感じます。



《2 学期 始業式》

8 月 26 日(木曜日) 2 学期の始業式が行われました。山梨県において、まん延防止等重点措置が発令されていることもあり、今回は体育館に集まることなく各教室において大型テレビを見ながらの始業式となりました。子供たちにも配られている 1 人 1 台パソコン(クロームブック)を使って各教室に校長室からの映像を配信しました。始業式では、2 学期のスタートにあたり、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて気をつけていくことについて養護教諭の中島郁美先生からの話をしっかり聞いてもらいました。



2 学期のスタートにあたっては、山梨県知事の要請も受ける中、児童同士の机の間隔を一段と広げるなど、新型コロナへの対策をしっかり準備をして始業式の日を迎えました。

始業式の朝、校門の前に立っていると、夏休みに仕上げてきた自由研究でしょうか、手提げ袋に収まらないで飛び出している、丸めた模造紙を抱えたり、夏休みの工作が入っているのでしょうか、大きく膨らんだ紙袋を吊るしたりしてくる子供たちのいつも通りの夏休み明けの姿を見ることができました。しかしながら、新型コロナの感染拡大が進んでいる中での 2 学期のスタートということだからでしょうか、その表情は、1 学期よりやや硬さが見てとれました。



《運動会特別日課》

9 月 9 日木曜日より運動会特別日課が始まりました。櫛形西小学校伝統のソーランの練習は 1 学期から低ブロック(123 年生)、高ブロック(456 年)に分かれて始めてきていましたが、リレーの練習や競争競技の練習が本格的に始まりました。校庭では、秋空の下、5 年生と 6 年生がリレーの練習を一生懸命していました。

